

# 北部保健所(中津地区)の感染症情報

# 5月

2025年 第19週 (5月5日～5月11日)

## ○感染性胃腸炎は減少しましたが引き続き注意が必要です。(5.33人/定点あたり)

感染性胃腸炎は、ロタウイルスやノロウイルスなどのウイルスや細菌によって引き起こされる胃腸の疾患で、一年を通じて発症します。ウイルスによるものは毎年秋から冬にかけて流行が認められます。症状は原因となるウイルス等によって少しずつ異なりますが、発熱、下痢(水様便、血便など)、腹痛、悪心、嘔吐などです。多くの場合、患者との接触や、汚染された水、食品によって経口的に感染します。手洗い、うがいを励行し、日常的に清潔を保つことが重要です。排便後や調理前は石けんと流水での手洗いが大切です。タオルの共用を避けることも必要です。

## ○百日咳に注意しましょう。(北部保健所管内の医療機関から2名報告されています。)

百日咳は、世界的にみられる疾患であり、小児に多くみられ、重症化しやすく、特に1歳以下の乳児には注意が必要な感染症です。通常7～10日間の潜伏期間を経て、臨床経過は、普通のかぜ症状で始まる「カタル期」(約2週間持続)、特徴のある発作性のけいれん性の咳(痙咳、けいがい)がでる「痙咳期」(約2～3週間持続)、激しい発作性の痙咳が減衰し、回復へ向かう「回復期」(2、3週～)に分けられます。成人の百日咳では咳が長期にわたって持続し、典型的な発作性の咳嗽(がいそう)を示すことなく、回復に向かうことが多いですが、菌の排出があるため、注意が必要です。主な感染経路は咳やくしゃみなどによる飛沫感染ですが、接触感染にも注意が必要です。咳が出るときはマスクを着用するなど咳エチケットを徹底することのほか、手指消毒・手洗いの励行など基本的な感染対策が大切です。



## ○全国的に麻疹(はしか)の感染拡大が懸念されています。

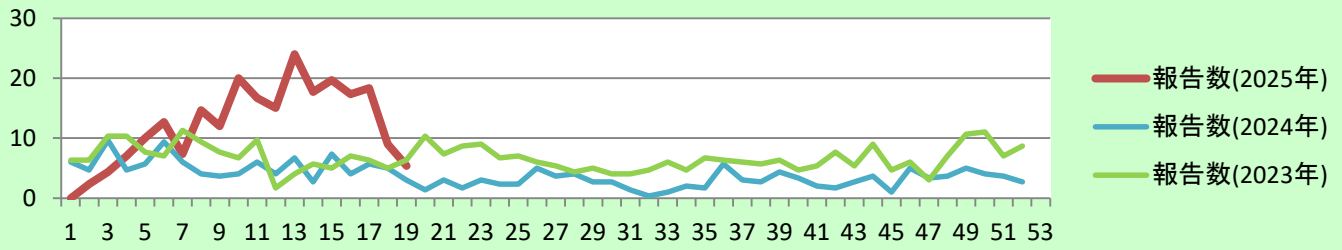
麻疹(はしか)は、麻疹ウイルスが原因で発症する感染症です。感染力が極めて強く、空気・飛沫(くしゃみ等のしぶき)・接触など様々な感染経路によって感染します。ウイルスに感染した後、潜伏期10～12日を経て発症します。海外等に行かれた方で発熱、せき、全身性の発しん、結膜充血等の症状が出た場合には、あらかじめ医療機関に「麻疹かもしれない」ことを電話で連絡をしてから公共交通機関を利用せずに受診するようにしてください。

予防接種については、詳しくはお住まいの市町村にお問い合わせください。

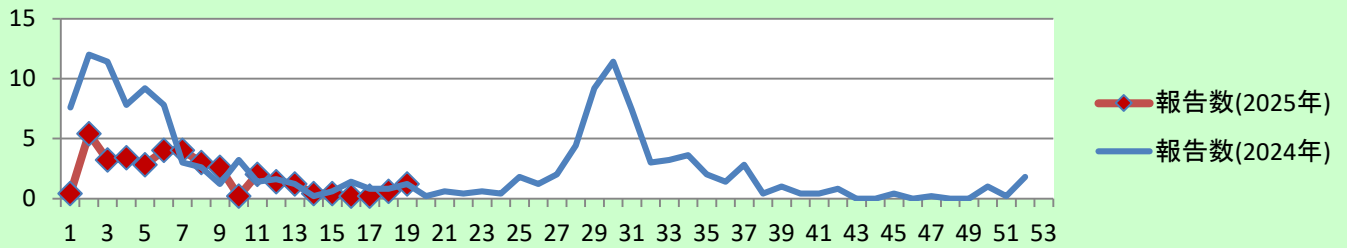
	インフルエンザ			RSウイルス感染症	咽頭結膜熱(プール熱)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘(水ぼうそう)	手足口病	伝染性紅斑(リンゴ病)	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	マイコプラズマ肺炎	新型コロナウイルス感染症	
	A型	B型	不明													
0歳							1.00									
1～3歳							1.00		0.33		0.33					0.20
4～6歳							1.00									
7～9歳							1.67	0.33								
10～14歳							0.67									0.60
15～19歳																0.20
20歳以上																0.20
計							5.33	0.33	0.33		0.33					1.20
70歳以上(再掲)																
前週	0.20					4.00	9.00			0.33	1.33					0.60
		0.20														

※指定された医療機関(定点)から報告された患者数を、1定点あたりに換算して計上(定点医療機関 インフルエンザ定点5、小児科3)  
 ※端数処理のため、合計と年齢ごとの数値は一致しないことがある。

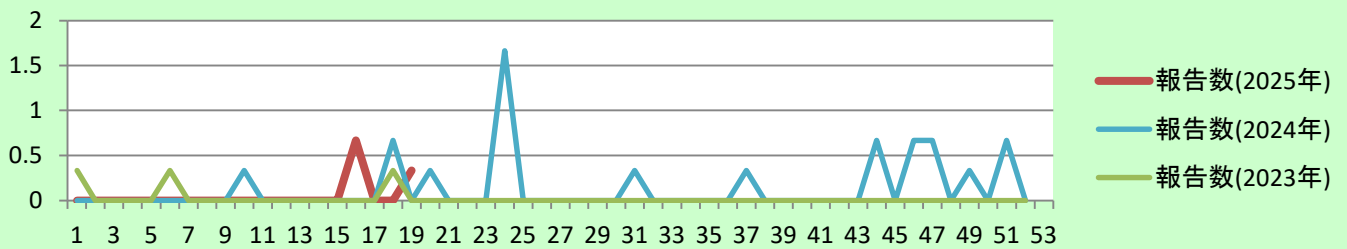
## 定点当たり報告数 感染性胃腸炎



## 定点当たり報告数 新型コロナウイルス感染症



## 定点当たり報告数 水痘(水ぼうそう)



疾患ごとの警報・注意報の基準値は以下のとおりです。

症状	流行発生警報		流行発生注意報
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

・「警報」: 大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを指す。

・「注意報」: 流行の発生前だと、今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いことを指し、流行の発生後だと流行が継続していることが疑われることを指す。

お問い合わせ 北部保健所 0979-22-2210

[a12089@pref.oita.lg.jp](mailto:a12089@pref.oita.lg.jp)